

## 平成29年度第3回理事会議事録

1. 日時：平成29年9月16日（土） 14:00～16:22

2. 場所：岸記念体育会館5階 504、505会議室

3. 出席者：

理事：総数27名中 松丸喜一郎会長 藤井優副会長 橋本聖子副会長 田村恒彦副会長  
岸高清常務理事 袴田登喜造常務理事 溝部政司常務理事 永谷喜一郎常務理事  
大野明敏常務理事 鍵山博常務理事 横山幸子常務理事  
生島賀寿也理事 田中敏夫理事 木場良平理事 三木容子理事 佐橋朋木理事  
藤井彌理事 田中僚一郎理事 源洋子理事 寺澤良悦理事 高橋信吾理事  
成山悟史理事 田中辰美理事 麻植芳靖理事 以上出席24名

監事：総数2名中 石崎和男 阿部栄一郎 以上出席2名

田村専務が14時00分に理事23名出席（橋本副会長は15:55から出席）で成立するとの宣言をした。

4. 議事録署名人：松丸喜一郎、藤井優、橋本聖子、田村恒彦、石崎和男、阿部栄一郎

5. 松丸会長挨拶

松丸会長が、アジアエアガンもあと3ヶ月にせまり、2020東京オリンピックもあと3年となり、それぞれの成功に向けて皆さんのご協力をお願いします。本日の審議もよろしくをお願いします、とあいさつした。

### <審議事項>

1. 21歳未満AP優先被推薦者の2、3回目再推薦付与条件について

袴田推薦委員長より資料1のとおり説明があった。これに対し、大野ジュニア育成委員長より現状でNT選考会のAP種目が土日に無く西日本で開催が無い、高校生の大会でAP種目が無い状況があり、弾力的な運用をお願いしたいとの発言があった。また鍵山常務から九州でのAPの大会が無いとの状況指摘があり、それらを考慮して弾力的な運用していただきたいとの発言があった。佐橋競技企画部会長よりいくつかの大会を対象大会に加えてほしいとの発言があった。これらの意見も受けて、本件はさらに対象大会などを再検討して次回理事会で審議することとなった。

2. 茨城県CP射撃場射座の広さについて

溝部競技運営委員長より資料3のとおり説明があり、特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく茨城県警察学校のCP射場の射座について長さを1.2mにするということで原案どおり承認した。

3. JOCエリートアカデミー第11期生候補について

田村専務理事より資料4のとおり説明があり、選考委員であった石崎監事より公平公正に選考されていたとの報告があった。特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく、原案どおり高木葵、西田葵の2名を候補者としてJOCに推薦することを承認した。

4. アジアエアガン射撃場整備業務発注について

田村専務理事より資料5のとおり説明があった。石崎監事より予算はいくらであったのか質問があり、3140万円の予算であったと田村専務理事が回答した。藤井彌理事よりも価格差が大きい要因はなにか、と質問があり田村専務理事が業者自身の施工実績の差などと思われると回答した。その後議長が諮ったところ全員異議なく、セレスポに射撃場整備業務を発注することを承認した。

#### 5. アジアエアガンポスターデザイン業務発注について

本件の利害関係人は田中僚一郎理事である。田中僚一郎理事については、本件審議に入る前に会議室より退室した。田村専務理事より資料6、別添資料1のとおり、本件は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第84条、第92条および当協会定款第33条による理事会議決のためのものである事も含め、説明があった、議長が諮ったところ田中僚一郎理事を除く出席理事全員異議なく、大会エンブレムデザインを無償で提供いただいた田中僚一郎理事が経営するTコミュニケーションに25万円で発注することを承認した。

なお、石崎監事より本来の法と定款のこれについての条文の趣旨はこのような取引は望ましくないとのことであり、そのように各理事はご認識いただきたいとの発言があった。

田中僚一郎理事は審議後入室した。

#### 6. ワールドカップファイナル大会派遣について

田村選手強化委員長より資料2のとおり説明があり、議長が諮ったところ全員異議なくワールドカップファイナル大会にISSFで指名された5名の選手を派遣することを承認した。

#### 7. 小学生向け日本記録、段級の認定について

溝部競技運営委員長より資料7のとおり説明があった。大野常務より原案の日本最高記録ではなく日本記録と称しても良いのではないかと、段級についてもいまの小学生はレベルが高く別の表に示なくても良いのではないかととの発言があった。岸高事務局長より本人の会員登録、所持段級、親名義での振込み確認など、相当な負荷や申請者への確認なども必要となりどのような事務手順が一番よいのか相談したいとの発言があった。田村専務から従来どおりの段級手順の中に入れてやっても良いのではないかと、袴田常務から撃ったその場でパッチがもらえるやりの方が良いのではないかととの発言があった。

ここで鷺見参事が発言をもとめ議長がこれを許した。鷺見参事はモチベーションという意味ではランキングにした方が父兄もふくめモチベーションが上がるのではないかととの意見を述べた。

議長が、本件は本日の意見を踏まえてさらに事務方とも詰めて12月の理事会に再度提案するというところで諮ったところ、全員異議なく12月理事会に提案し直しとなった。

なお、溝部委員長より資料7の末尾の生徒学生以外の2～4級の受験省略の取りやめについて、今後受験料の増収を確認のうえ、増収効果がないのであれば、元にもどしてはどうかとの委員会の意見があったとの発言があった。

#### 8. 公認審判員の承認について

溝部競技運営委員長より資料8のとおり説明があった。議長が諮ったところ全員異議なく12名の地方公認審判員、4名の本部公認審判員の任命について承認した。

#### 9. 記録の公認について

源記録部会長より資料9のとおり説明があった。その中で5番目のBPDS60Mファイナルの会場について記載の岐阜県メモリアルセンターではなく宮城県ライフル射撃場が正しいとの訂正があった。議長が諮ったところ全員異議なく5件の日本記録について承認した。

#### 10. ジュニア育成アスリート等指定基準要項の一部改訂について

大野委員長より別添資料4のとおり説明があった。三木副委員長よりアジアエアガンへのユース種目への3名団体出場確保のために対象大会を追加指定との目的もあるとの補足説明があった。議長が諮ったところ全員異議なく、基準要綱5の国際大会等への選手派遣についてジュニア育成ラン

キングも対象に拡大できるようにする改訂、ジュニア育成アスリート指定対象試合を6大会増やす改訂を承認した。

## <報告事項>

### 1. 専務理事より

#### ・支払い期限厳守について

田村専務理事より、日ラへの各種支払金額について滞納された加盟団体があり、取引があった月末締めで翌月初めに請求書をお送りしておりますので、その月末までに支払をお願いしたいとの発言があった。

#### ・決算、役員変更、加盟団体規約等の報告について

田村専務より資料10、別添資料2のとおり報告があった。その中で資料10の中で未提出となっている山梨県、長野県、滋賀県、島根県は提出されたのでその旨訂正があった。また田村専務よりまだ、山形県、兵庫県、徳島県、愛媛県は未提出であり、規約や決算報告等の提出はコンプライアンス上も重要で内閣府による公益法人としての監査の際にもチェックを受ける内容であるので、加盟団体規約のとおりきちんとして提出いただくようにとの発言があった。

また田村専務より別添資料2のとおり加盟団体規約のひな型について紹介する報告があった。

### 2. 委員会報告：

#### 1) 推薦委員会報告

##### ・7月8月推薦委員会審査結果について

袴田推薦委員長より資料11のとおり報告があった。

#### 2) 国体委員会報告

##### ・えひめ国体への協力依頼。

鍵山国体委員長がえひめ国体について各位の協力を依頼した。

##### ・競技種目BP男子40の60発への変更

鍵山国体委員長よりBP男子種目弾数を60発に変更する件について、日体協に申請中で12月に承認がおりる予定であるとの報告があった。

##### ・国体競技役員の削減について

鍵山国体委員長より日体協基準の現在の154名から121名に33名削減をしようとの案で考えており、えひめ国体と福井のりハで検証していきたい。次の理事会で削減案を報告するとの報告があった。

#### 3) 選手強化委員会

##### ・ナショナルチーム選手の指定変更について

田村選手強化委員長より資料12のとおり報告があった。

##### ・東京2020パラリンピック大会射撃種目追加について

田中辰美理事より資料13のとおりライフル50mライフル伏射SH2が追加されたとの報告があった。

なお、橋本聖子副会長は上記田中辰美理事の説明途中の15時55分に入室し着席した。

#### 4) ジュニア育成委員会

##### ・ジュニア育成アスリート選手指定について

大野ジュニア育成委員長より資料 14 のとおり報告があった。その中で三木副委員長よりカテゴリーについてU20 の表記全 8 ケ所について正しくはU22 であるとの資料訂正がされた。

#### 5) 2020 リンパッパッ準備運営本部

- ・本部委員選任と退任について

田村オリパラ準備運営本部長より資料 15 のとおり田中僚一郎理事の選任と香西俊輔理事の退任、香西理事が担当していた同本部射撃場部会長の後任は大野常務とするとの報告があった。

#### 6) 競技運営委員会報告

- ・2018 年度事業計画案案について

佐橋競技企画部会長より別添資料 3 のとおり報告があった。その中で9月の場所市町村の3行目「茨木町」は「茨城町」に訂正と、さらに7月全日本ライフルチーム(宮城県)の日程について「14日(土)～16日(月)」を追記との報告があった。

- ・福井県射撃場(50m)電子標的への変更について

溝部競技運営委員長より資料 16 のとおり報告があった。

- ・アジアエアガン選手権大会用仮設射場の公認手続きについて

溝部競技運営委員長よりアジアエアガン選手権大会用の和光市総合体育館の仮設射場については、直前に射場公認要件について現場確認し12月16日の理事会で事後承認となりますが、ご了解いただきたいとの報告があった。

### 3. 会務報告

- ・大会要項 50、58 の変更

田村選手強化委員長より参考資料に配布したとおり、NT選考会について変更するとの報告があった。

- ・ハブ拠点を使ったジュニア強化活動について

大野常務より9月9日のハブコーチ会議において、高校でのAP大会が欲しい。射撃場の無い部活がある学校にも保管庫が設置できない。500枠がAP強化の支障になっている。エミールコーチともっとじっくり踏み込んだやりとりができる講習がのぞましい。ハブの射場での射座の確保について配慮をいただけるようジュニア育成委員会から各団体をお願い文を出したい。との意見が出た。関係の方にはよろしく願いたい。これらの状況なども踏まえてハブのしっかり評価をして来年度以降、続けられるのかどうか考えていきたい。との報告があった。

- ・台風への広島大会の開催可否判断について

高橋理事より、この週末の広島での大会は台風の影響を受けそうだが、開催可否については日ラとしてはどう考えているのか。との発言があった。田村専務より、主管する広島判断となる。と報告した。

- ・日ラ認定コーチ活動補助金事務について

成山ジュニア育成副委員長より認定コーチの補助金については倉田事務局員が担当するとの報告があった。

- ・30年度事業計画案での小学生大会、中学生大会の開催について

鷺見参事が発言をもとめ、議長がこれを認めた。鷺見参事より来年度事業計画で小学生と中学生の大会を父兄等の都合も考えて一緒の場所、期間にできないのか。との発言があり、佐橋競技企画部会長が検討すると答えた。

- ・和光市でのアジアエアガン大会の射場公認について

井上参事が発言をもとめ、議長がこれを認めた。井上参事より和光市総合体育館の仮設射場の公認は大丈夫か。との質問があり、溝部競技運営委員長より警察の承認後に必要な測定、現場確認の公認手続きをとり、理事会には12月理事会に事後報告となると、先ほど理事会の中で報告しており、問題ない。と説明した。

16時22分議長が閉会を宣言した。

平成29年9月28日

議事録署名人

議長、代表理事（会長）松丸喜一郎

松丸喜一郎



代表理事

藤井優

藤井優



代表理事

橋本聖子

橋本聖子



代表理事

田村恒彦

田村恒彦



監事

石崎和男

石崎和男



監事

阿部栄一郎

阿部栄一郎

